

福島県看護連盟だより

ふくしま

F U K U S H I M A

たかがい恵美子さんを国政に!!

あ
お
ぞ
ら

福田玲子氏
瑞宝単光章叙勲受章祝賀会

A O Z O R A



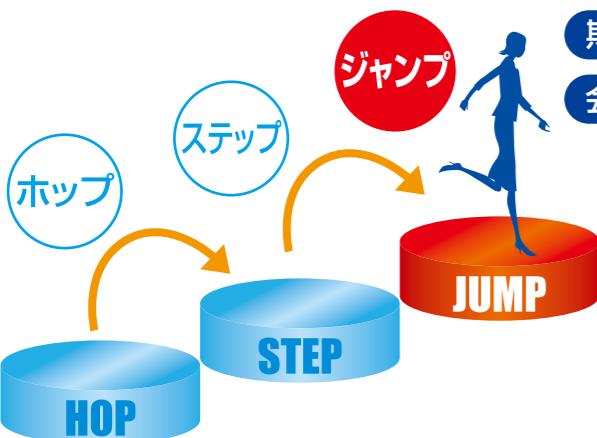
平成21年11月3日瑞宝単光章を受章され、
福島県立医科大学附属病院元看護部長で
あられました福田玲子氏の受章祝賀会が平成
22年1月30日、ホテル辰巳屋において行われま
した。

祝賀会では、福田氏がご活躍当時の病院長
阿部力也名誉教授、福島県看護協会西山
郁子協会長、柏川禮司名誉教授からご祝辞
をいただき、つづいて医大附属病院、看護
学院、総合衛生学院、看護協会、看護連盟等
の関係者から祝舞、祝吟、スピーチ、また有志
のフラダンス等をご披露いただき盛大かつ

華やかな会となりました。ご祝辞やスピーチでは、福田氏の人柄や人望とともに看護師、看護管理者、看護教員として精力的に仕事を推し進めてこられたエピソードや業績について紹介され、看護協会、看護連盟の仕事を含め、50年余の功績の偉大さと同附属病院の看護の先輩として、あらためて感銘致しました。160余名のご参席の中、ご主人、ご子息もご同席され、福田氏は終始、満面の笑みで皆様とご歓談していました。

福島県立医科大学附属病院 副院長兼看護部長 北原 和子

たかがい恵美子ジャンプ開催!



期日 平成22年6月20日(日)
会場 JA郡山市会館(エミナールあさひ)

プログラム Program
■16時45分 開会
■17時00分 たかがい恵美子
スピーチ
■17時50分 閉会

福島県看護連盟 事務所移転 のお知らせ

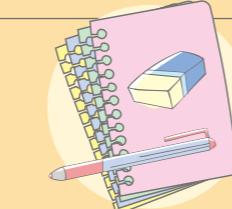
〒963-8871
郡山市本町1丁目19番8号
生天目ビル1階
TEL (024)973-8819
TEL (024)973-8829

編集後記

いよいよ迫り来る参議院選挙、ホップ・ステップ・
ジャンプ! 活動の真価が問われます。何が正しくて、
何が正しくないのか難しい世の中です。しかし会員の
皆様は、たかがい恵美子さんとなら明るい未来を
作れると確信しているのではないでしょうか。

広報委員メンバー

副会長	事員	服薄	部井	幸公	子子
幹委	員	武大	田京	治京	美子
委委	員	鈴深	内木	ひと	ひと
委委		谷	谷	す	が



目次

●日本看護連盟 会長 あいさつ	P2
●福島県看護連盟 会長 あいさつ	P2
●たかがい恵美子 ~明日に希望のもてる社会を!~	P3
●第1回ポリナビワークショップin福島	P4~P5
●ステップ開催報告	P6~P7
●研修会報告	P7
●平成22年度 福島県看護連盟 通常総会プログラム	P8
●平成22年度 活動計画(案)	P8
●あおぞら ●たかがい恵美子ジャンプ開催!	P10
●編集後記	P10

contents



明日に希望のもてる社会を!

■日本看護連盟 会長 あいさつ

日本看護連盟
会長 清水 嘉与子



福島県看護連盟の皆さん、皆さんの底力を示す日が近づいてきました。今、全国の看護連盟会員が一丸となって、自分たちの代表を国政の場に送ろうと努力しています。

忙しく、緊張の続く毎日を過ごしている臨床の現場は、同時に日進月歩の知識や技術に追いつくために、学び続けなければならない現場でもあります。その上家事や育児、家族の健康管理者の役割も担っている皆さん、皆さんが専門職としての自信と誇りを持って働き続けることができる環境を整えるために、看護政策をさらに充実させなければなりません。看護職が安心して働くということは、皆さんのサービスを受けるたくさんの患者さん、お年より、障害を持つ方々などが安心して、よい看護サービスを受けることができることにつながります。

日本看護連盟は山積する看護問題を解決するため、昭和46年以降自民党から石本、清水、南野と、参議院に送り、看護政策の充実をはじめ、手ごたえのある成果を挙げてきました。しかし、18年間活躍された南野議員が引退される今、たかがい（高階）恵美子さんを送らなければ参議院には誰も看護職代表はいなくなります。

そんな暗黒時代を作らないために、伝統ある福島県看護連盟の一層のご活躍を心から期待しております。今はともかく「たかがい（高階）」の知名度を上げるためにご努力ください。参議院選挙の方法がなかなか理解されていないようですので、ご支援くださる方々には、比例代表候補の投票用紙には必ず候補者の名前を書いていただくよう、お願いしてくださいますように。7月には一緒に万歳ができますことを祈っております。

■福島県看護連盟 会長 あいさつ

福島県看護連盟
会長 笹原 和子



会員の皆さん、日頃より看護連盟活動にご協力ご支援いただき誠に有難うございます。

7月の参議院選挙まで残り少なくなりました。今まさに看護の代表を国政に送ろう、と日々精力的に取り組んでいるところです。

さて、来る6月20日にJA郡山市会館において平成22年度福島県看護連盟通常総会を開催いたします。また総会終了後には引き続いたかがい恵美子ジャンプを開催して、たかがい恵美子さんを勝利に導く集会といたします。

年々少子高齢化が急速に進む中、人の生きる力を守る看護者が働きやすい環境で社会に貢献できる制度の構築が必要です。そのためには看護の代表「たかがい恵美子さん」を絶対国政に送らなくてはなりません。

21年度の重点活動は、第22回参議院選挙に向けて「たかがい恵美子と未来を創る会」を立ち上げ、本部の方針に基づいて行動してまいりました。しかし、途中で大きな試練に直面いたしましたが、屈することなく未来を創る会を中心に今までになく広範囲に行動してまいりました。他団体との交流を深めながらホップ・ステップを実施し、またポリナビを青年部が開催するなど、大きな実績に結び付きました。さらに7月のゴールを目指し看護職一人ひとりが全力投球しなければなりません。看護の未来に明るい灯をともすため、皆さまのご支援をよろしくお願ひいたします。なお、総会及びたかがい恵美子ジャンプには多くのご出席をお待ち致しております。

たかがい恵美子さんのプロフィール

- ◆1963年 宮城県生まれ。
- ◆1984年 埼玉県立衛生短期大学卒業。
- ◆1993年 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業。
- ◆1997年 東京医科歯科大学大学院医学系研究科博士課程後期中退。
社会保険埼玉中央病院、虎ノ門病院勤務を経て、
宮城県で保健師活動。
- 東京医科歯科大学医学部学内講師から厚生労働省看護技官に。
2008年日本看護協会常任理事に就任。



街頭演説(福島駅東口駅前)



街頭演説(郡山市イトーヨーカドー前)

看護の経験を国政へいのちと暮らしを守り抜きます!

いま私たちは、誰も経験したことのない時代に突入しつつあります。人口が減り、子どもが減り、働き手が減るなかで高齢化が進んでいきます。そんな時代に、どのような社会を創らなければならないか。

いのちのそばに常に寄り添ってきた看護職は気づいています。

愛する人と居心地がよい街で、自分らしく生き、人生を全うしたい。誰もが切に願っている想いです。

看護職は、いま現場で悩み、こう変えたいという願望を持っています。この願いを実現することができるなら、少子高齢社会を迎える日本を豊かな社会にすることができます。現場を知るからこそ、これから社会保障のしくみをたしかな形にしたい。

たかがい恵美子は、看護職がもつ知恵と技術を社会に伝え、人を大切にする社会、働くことを楽しいと思える社会、明日に希望がもてる社会、そんな社会づくりのために、ぜひ働きたいと考えています。





第1回 ポリナビワークショップin福島

平成22年3月21日(日)
13:30~16:30



ポリナビワークショップin福島開催報告

青年部委員長 村岡 耕栄

3月21日郡山市労働福祉会館大ホールにおいて、「第1回ポリナビワークショップin福島」を開催しました。当日は、暴風雨の悪天候であったため、どれだけの方に参加していただけるのか大変不安でした。しかし私の不安とは逆に20代~30代を中心に約250名と多くの方が参加してくれました。日本看護連盟幹事・A-LINE社長の中友美氏、前日本看護協会常任理事のたかがい恵美子氏をお招きし講演をしていただきました。参加者一人一人が、中氏、たかがい氏の話を一言一句真剣に聞き入っている姿が大変印象に残りました。またユニフォームコレクションと題して、看護学校や病院にご協力をいただいて、10組の方に白衣をファッションショー風に披露してもらい会場は大いに盛り上がりいました。グチコンテストでは現場の声や現状を発言してもらい、非常に考えさせられました。3時間という短時間ではありましたが、内容は多岐にわたりとても充実した時間を参加者の方と共有できました。

ステップ開催報告

「たかがい恵美子と未来を創る会」

いわき地区

いわき地区幹事 薄井 公子



いわき市総合保険福祉センターには250名を超える後援会の方々で埋めつくし熱氣あふれる中での開会となりました。役員、連絡員が数ヶ月かけて計画し、たかがいさんに会う機会を作りたいという強い信念そのものでした。

さて、開会式、支援者の挨拶、紹介、たかがいさんの紹介と進み、スピーチは、「一生をかけてお役に立てる仕事、いつも命の傍にいる看護職を目指したのは15才、現在までの貴重な経験を積み重ねた中で、ひとりひとりが元気に生きるために、保健福祉の充実、安心安全な環境を整え、楽しく仕事ができるようにするため、7月には、スタート地点に立ちたい。やりがい、いきがい、たかがいをお願いします。」と本当に力強い、オーラにつつまれた一瞬でした。会場との意見交換のあと「フィオ浅貝」のフラダンスも一段と華を添え、たかがいさんとの固い握手の後お別れとなりました。参加者の力強い支援の言葉をいただき、皆様のご協力に心から感謝いたします。

相双地区

相双地区幹事 藤田 清子



ようこそ2支部154名の 県内最小の相双へ

3月22日午前相双ステップ、双葉厚生病院施設訪問と相双支部研修会を行いました。

施設訪問は、青年部の似顔絵入りの横断幕での歓迎・申し送り時間帯の5つの病棟を看護師45名とスタッフ5名に会う事ができました。たかがいさんは新生児室で赤ちゃんを抱き、分娩室では年間分娩数を聞き、少子化問題に、興味を示されておりました。

その後研修会へ移動、県会議員太田光秋先生がかけつけ「現場を知っているたかがいさんに是非国会で働いて頂きたい。」とお言葉を頂きました。たかがいさんのわかりやすい熱い思いのスピーチに、皆うなづきながら聞きいておりました。数名の質問に「診療報酬の中に看護技術への評価項目がない。制度を変えないと大変な事になる。」と話され、その後全員で写真撮影を行いました。

会員の半数が直接たかがいさんに会う事ができ、絶対に我々の代表として国会に送らなければとの思いを強く抱いた事と思います。

県中地区

県中地区幹事 斎藤 ちづ子



去る3月20日(土)・21日(日)は、県中地区のステップ研修が行われた。1日目は9施設を訪問した。各職場を訪問し大勢の方に迎えられ、たかがい恵美子さんを465名に紹介することができた。また、2日目は「たかがい恵美子と未来を創る会」の集会を郡山ビューホテルアネックスで開催した。約100名の参加のもとに、未来を創る会副会長 笠原・西山両氏の挨拶後、福島県議会議員3名から力強い励ましの言葉をいただいた。続いて、たかがい恵美子さんから、将来の社会状況を考えて医療・福祉に力を入れ、社会保障を充実していくなければならないと力強いスピーチがあった。施設訪問や集会時には質問もあり、迫力ある返答に参加者が緊張する場面もあった。実際のたかがい恵美子さんに会い、背が高い、美人だ、迫力あり期待できるなど関心を示していた。最後に、たかがい恵美子さんが歌っている「いのち」の曲に合わせ、各支部長が参加者と一緒に手話で応援メッセージを伝え、頑張ろうコールで終えた。

各支部長のアイデアや協力で、看護職の代表を国政に送らなければならないと意識を高め、大変盛況であった。

研修会報告 看護管理者政経セミナー

幹事長 本内 敦子



去る2月6日(土)、コラッセふくしまにおいて看護管理者セミナーが開催されました。県内の看護管理者146名が参加致しました。テーマは「看護政策推進のための取り組みについて」、講師は日本看護連盟の石田昌宏幹事長でした。内容は政権交代後に日本看護連盟の今後のあり方や選挙への対応について検討した経過についてお話をありました。そして「日本看護連盟の方針を1人でも多くの方に改めてご理解いただき、ぶれることなく皆で前に進むことです。看護の政治力を維持発展させるために今こそ圧倒的な票でたかがい恵美子さんを当選させることです。」と看護連盟の活動を強調なさいました。私達は日本看護連盟の方針や目標がよく理解でき、必ずたかがい恵美子さんを国政に送らなければならないという固い決意を新たにしました。

平成22年度 活動計画(案)

重点目標 「たかがい恵美子」を国政に必ず送る

重点活動 ①ルールを守つて政治活動・選挙運動を進める

②徹底した会員確保対策を進める

③組織の見直しを進める

④「現場の声」を基本に看護政策の実現を促進する

平成22年度 福島県看護連盟 通常総会プログラム

期日 平成22年6月20日(日) 会場 JAL郡山市会館(エミナルあさひ)

◆13:30	受付
◆14:00	開会・あいさつ
◆14:40	経過報告
◆15:05	審議事項
◆15:35	綱領宣言
◆15:45	閉会
	職域支部総会
◆16:00	特別講演 テーマなぜ 国政に看護の代表を送るのか 講師 参議院議員 南野 知恵子
◆16:30	閉会

項目	日 標	活 動	内 容・目 標
政策の実現	1 日本看護協会が提言する 政策や意見を国政に反映 させる	1) 関連情報を速やかに入手し、会員へ伝達する 2) 看護協会とともに陳情・要望活動を行う 3) 看護を支援する国会・地方議員との日常関係を強化する 4) 現場の声を国会・地方議員等に伝える 5) 政党マニュフェストに看護現場の意見を反映させる	・機関誌、機関紙による情報提供・情報交換 ・要望書の提出 要望主旨の説明面談 ・看護問題に関心が高い国会議員・地方議員との定期的な勉強会や意見交換を開催する ・看護の声を聞かせてくださいアンケートを集約しホームページ等に掲示する ・支持政党への要望活動 懇談会
政治力の強化	1 継続して看護職の国會議員を確保する 2 国会への影響力を強める	1) 第22回参議院選挙に向けた活動を行う 2) 次期参議院選挙での活動を整備する 3) 関係団体との連携を強化する	・候補予定者・選挙・活動方針を徹底周知し、全会員が必ず投票にいく ・選挙支援・活動応援 ・団体訪問するなど後援会活動を進める 1会員が10人の後援会員を集める
議会への影響力の強化	3 地方議会への影響力を強める	1) 都道府県に看護問題対策議員連盟を発足する 2) 看護職地方議員を擁立する 3) 地方議員支援体制を強化する	・都道府県看護問題対策議員連盟を設置し、連携を深める ・地方議員と勉強会等を開催し、関係を深める(看護連盟懇談会) ・活動支援する
組織体制活動	4 看護連盟の確立	1) 支部組織を整え、支部活動を中心にして、一人ひとり活動力を強化する 2) 支部数を増加し、きめ細かな活動体制を進め 3) 会員の年齢層別組織活動を検討 4) 看護管理者や看護教育者の政治参加を進め 5) 地方議員支援体制を強化する	・支部活動の実施と評価 会員獲得目標7,000人 ・会員数拡大・会員獲得活動(施設訪問・基礎研修)の徹底 ・設置目標数 30支部 ・青年部活動の支援 ・教育者・看護管理者の政治啓発として、都道府県開催のセミナー等への参加者増を図る
学生会員の育成	2 若手会員の育成	○ 1) 若手会員が主体的に活動する 2) 学生会員に看護政策及びその実現の必要性について学ばせる	・若手1,000人プロジェクト(仮)に参加 ・メール等による政治・選挙活動を展開し、投票行動を高める
組織の強化・拡大	3 学生会員の獲得と育成	○ 1) 学生会員に看護政策及びその実現の必要性について学ばせる	・アンフィニー等の情報提供 ・青年部主催の研修会等への参加呼びかけ
活発な情報流通	4 看護連盟の理解者を増やす	1) 他団体及び地域住民との連携を進める	・意見交換会「現場の声」を発信する
	1 会員の意見を政策提言に活用する	2) 「現場の声」を国会議員や看護協会等の政策立案に役立てる	・研修後の記載を徹底し、「現場の声を聞かせてください」のアンケートを集める ・「現場の声」を集約・分析し政策提言や資料提供をする
	2 会員及び非会員に対する広報活動を推進する	○ 1) 看護連盟だよりを発行する 2) ホームページの運営 3) 看護連盟に対する会員の理解を深める	・福島県看護連盟HPの内容の充実や画面更新 ・各種グッズの更新・活用 ・連盟紹介ビデオ、会員バッチ、ハンドブック、連盟ポスター、クリアホルダー、シャープペン ・ビデオ、パワーポイントで継続学習 ・施設訪問、研修 ・選挙違反防止チキスト、公務員活動チラシなど
	3 会員の活動を周知する	○ 1) 看護職議員の活動を周知する	・投票促進エースターの作成、主に公的施設等に配布 ・会員意識調査の実施(9月) (政治・選挙活動の意識を調査し活動の方向性などの資料とする)
	4 政治選挙に関する会員の理解を深め、行動する会員をつくる	○ 1) 看護連盟だよりを発行する 2) ホームページの運営 3) 看護連盟に対する会員の理解を深める	・機関誌等を活用し、議員ホームページとのリンク ・メールマガジンで活動内容を配信する ・国政における看護職議員の活動報告
	5 看護職議員の活動を周知する	○ 1) 看護連盟だよりを発行する 2) ホームページの運営 3) 看護連盟に対する会員の理解を深める	・ミニ研修、基礎研修を実施する(支部主催) ・都道府県研修として若手会員研修、新人研修、男性看護職研修、看護管理者研修等を実施する ・都道府県が主催する管理研修会等への参加を促進する
	6 研修会活動を積極的に推進する	1) 支部が中心となり研修会を積極的に開催する 2) 支部に出来ない研修は都道府県で開催する 3) 教育者が看護政策を基礎教育で教育できるよう働きかける 4) 看護管理者が議会へ看護の代表者を送ることの意義を理解し組織活動が発展できるよう研修会を開催する 5) 若手会員選挙参加促進のための研修会を開催する 6) 支部役員の連盟に関する理解を深める 7) 会員基礎研修の実施	・若手会員研修会を開催する(青年部委員会主催) ・支部役員徹底研修に参加(23年2月本部主催) ・新規採用者等全員を6月までに終了選挙行動の促進を図る(支部主催)
組織の強化・拡大	1 施設・支部・都道府県・本部・協会の一連した組織活動を推進する	1) 活発な定例会議等を通して本部・都道府県・支部の連携を強化する 2) 事務局の運営を適正に行う 3) 慶弔への対応 4) 諸問題への対応	・県総会 年1回開催 ・全国会長会出席 ・ブロック別会長会出席 ・会長・支部長合同会議出席 ・ブロック協議会出席 ・福島県看護協会・看護連盟合同役員会の適時開催 ・都道府県別会議 年1回開催 ・県役員会 月1回開催 ・県役員・支部長合同会議 適時開催 ・支部役員会、支部研修会への協力
会員の福利	2 諸問題への対応	1) 会員を適正に管理する 2) 財政を適正に管理する 3) 職員を適正に管理する	・全国共通の新会員管理システムの運用
	2 諸問題への対応	1) 規約に基づき対応する 2) 専門家と相談の上、速やかに問題解決する	・災害見舞、物故者への弔意、受賞(弔)者へお祝 ・その他